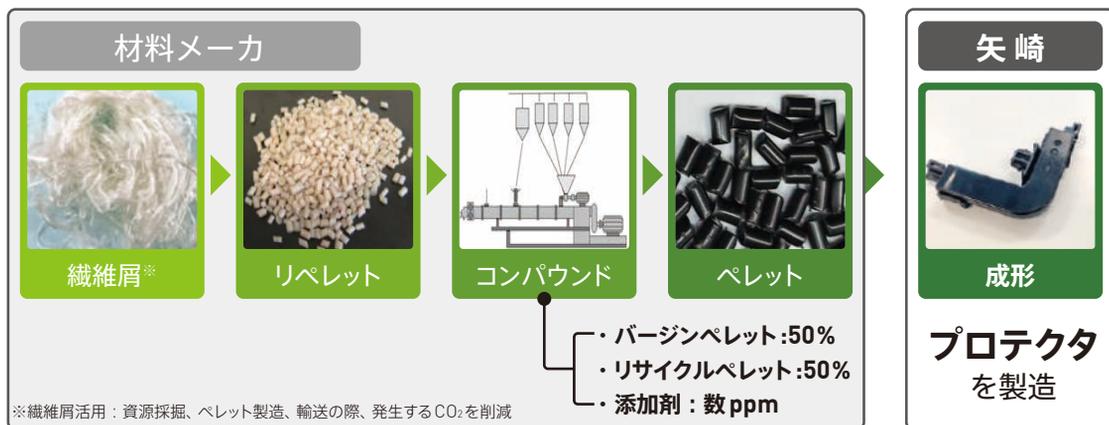


車両搭載時に車の振動で発生する摩擦により ワイヤーハーネスが剥がれることを防止する

- エアバッグの基布に使用される繊維の製造過程で発生する繊維屑を利用した「リサイクルポリアミド樹脂」を採用し、部品を開発

- 材料メーカーが自社で製造している繊維の繊維屑を回収して、リサイクルの素原材にしておりトレーサビリティが容易
- リサイクルの素原材は、繊維屑に限定しており、異物混入や材料特性バラつきが少ない
- 従来のポリアミド樹脂と比較し、約20% CO₂削減



※繊維屑活用：資源採掘、ペレット製造、輸送の際、発生するCO₂を削減

CO₂排出量削減効果
(対バージン材料)▲20%

グロメットを輸送する際の破損を防ぐ、 ポリプロピレン製のカバー

- 使用後に廃棄されていたカバーを回収・再生し、そのリサイクル材を利用したカバーを開発

- 成形品 (カバー) の回収体制の見直し
- リサイクル工程の導入
- プラスチック廃棄物の再生利用

グロメットカバーのリサイクル工程



目視による選別

リサイクル
ポリプロピレン

成形品 (カバー)

異物除去

粉碎・造粒

成形

取り付け

輸送納品

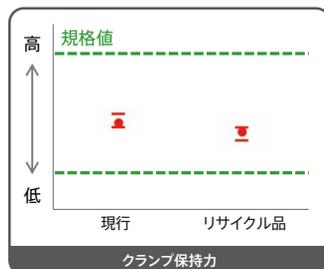
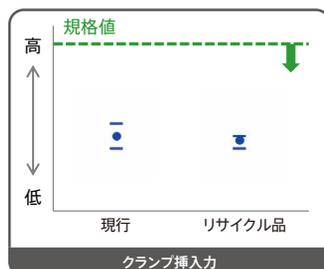
取り外し

▶ 従来は廃棄

リサイクル工程の導入

回収

回収体制の見直し



現行品と同等レベルの
性能を確保